

IOR-GE 形 誘導形地絡過電流継電器 小勢力形

Type IOR-GE Induction Type Low Energy Ground Overcurrent Relay

IOR-GE 形 地絡過電流継電器は一般に交流回路の地絡保護に使用され、機器中性線変流器の二次または変流器二次の残留回路あるいは三次零相回路に接続され、回路の地絡電流が継電器の整定タップ電流値より超過した時、その電流値に応じた時限をもって動作する小勢力形の地絡過電流保護継電器です。

特 長

消費電力は 0.3A タップ 0.3A において 0.2VA という小勢力で十分確実な動作をします。

変流器二次の残留回路や、変流器三次の零相回路など負担能力の小さい所に使用して、地絡故障時高感度をもって動作させることができます。

構造と動作

主要部は限取コイル式鉄心に主コイルを巻き、この限取コイルと主コイルとによつてできる移動磁界により、渦電流が流れると円板が回転するという原理に基づいたもので、円板と可動接点の間に一段の減速歯車機構を設け、トルクを増大し、僅少な消費電力で確実に動作するような構造としています。

中性点抵抗接地系送電線等においては、地絡時の零相電流が小さいため、また変流器零相回路の特性を考え合わせて継電器のインピーダンスをできるだ



第 1 図 IOR-GE 形 誘導形地絡過電流継電器 (埋込形)

け小さくし、かつ動作電流もきわめて低い値にとつてあります。

動作表示器および補助接触子を備えており、直接しゃ断器を引はずすことができます。

動作電流値の整定

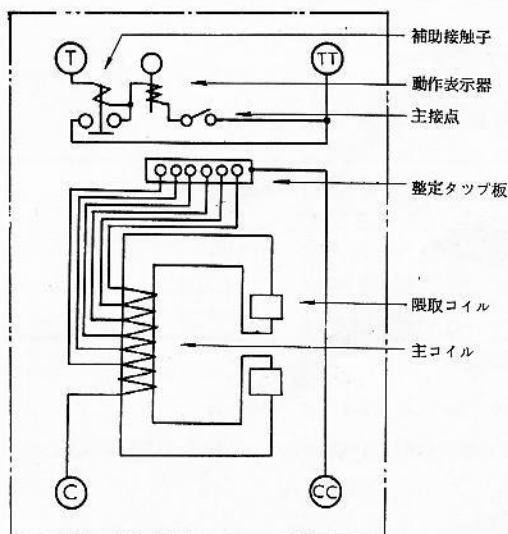
電流整定タップ板には始動電流値が銘記されていますから、系統の大小や個々の場合に応じて所要の電流値へプラグを差し込めばよい訳です。

広範囲の電流整定ができるようにタップ板には 0.3—0.5—1—1.5—2—2.5A の 6 タップを設けてあります。

時限の整定

銘板には時限特性曲線が記載してありますが、これは整定電流値のパーセンテージに対する動作時限の変化を表わしています。

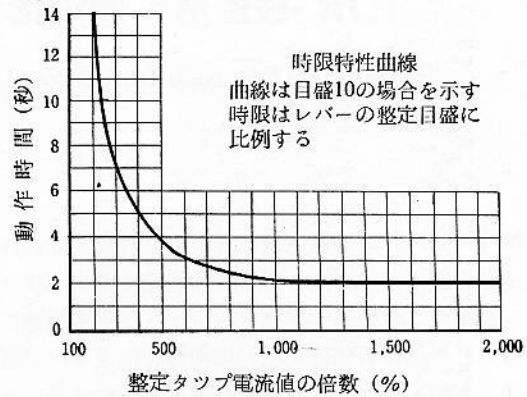
動作時限は円板の回転角度を変えて調整するようになつており、時限目盛板と時限レバーが設けてあります。目盛板上には 0～10 の時限等分目盛が施してありますが、レバー 10 位置において 1,000 % 以上の過電流による動作時限は 2 秒となつており、反限時性定限時特性を与えています。動作時限はレバーを動かすことによつて任意に整定することができますが、いずれの位置においても、またどの電流タップにおいても正確な時限が得られます。



第 2 図 内部接続図 (裏面)

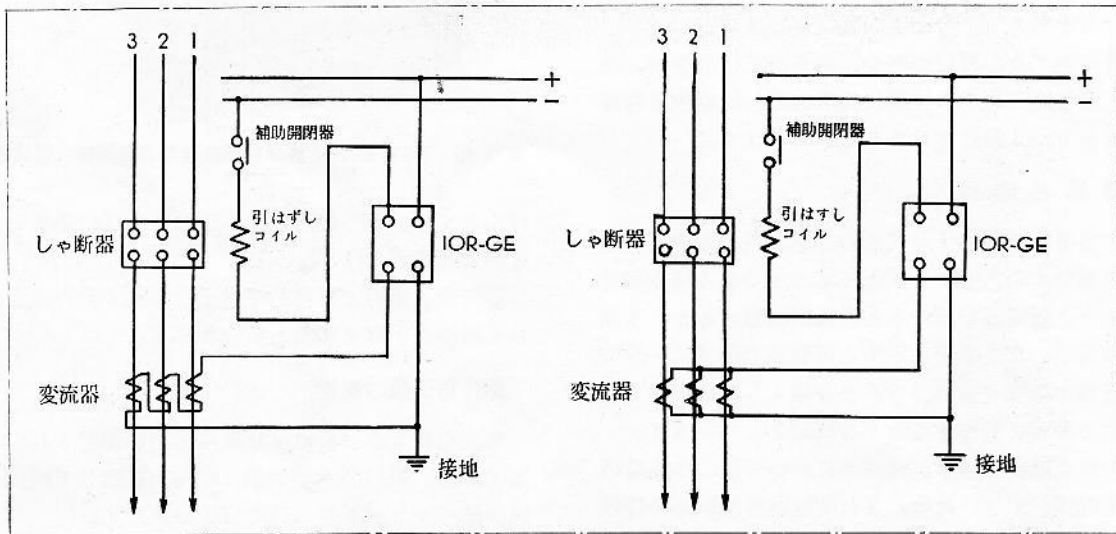
接点と表示器

主接点は純良な銀で作られ固定、可動両接触子は過大な電流による衝撃にも確実に接点を閉路し振動したり、火花等を発して接触不良を起こすような事はありません。また補助接触子と動作表示器を備えており、しゃ断器の引はずしおよび動作表示を確実にこなうことができます。



第3図 時限特性

外部接続



第4図 外部接続図 (裏面)

IOR-GE形 誘導形地絡過電流継電器標準定格表

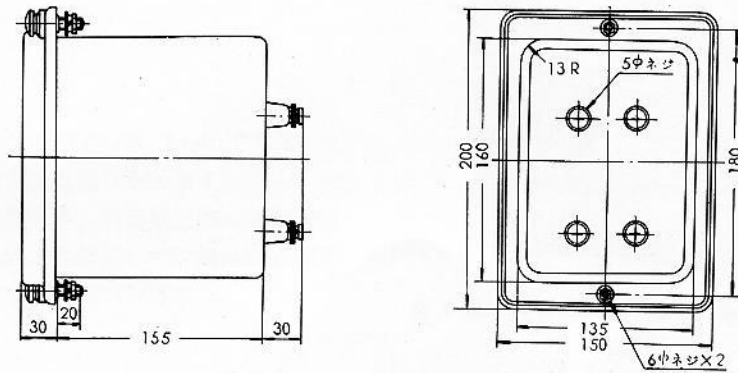
形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子表示器	周波数	備考
IOR-GE	1A cont	0.3-0.5-1-1.5-2-2.5A	タップ電流にて 0.2 VA	1 A または 2 A	50 ~ または 60 ~	埋込形

- (注) 1. 重量は約 3.9 kg です。
 2. 表面丸形、引出形も標準として製作しています。
 3. 特に機器の中性接地線のように、変流器の負担に制限を受けない場合には、下記の IOR-EN 形をご使用下さい。

IOR-EN形 誘導形地絡過電流継電器標準定格表

形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子 表示器	周波数	備考
IOR-EN	1A cont	0.3-0.5-1-1.5-2-2.5A	タップ電流にて 3 VA	1 A または 2 A	50 ~ または 60 ~	埋込形

外形寸法



第5図 IOR-GE形、IOR-EN形 継電器外形寸法図（埋込形）

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形状：埋込形、引出形、表面丸形の別
2. 用途：使用回路および IOR-GE、IOR-EN の別
3. 周波数：50、60～の別
4. 制御回路：操作電源、しゃ断器引はずし電流補助接触子 1、2 A の別
5. その他：標準外の仕様がある場合